

CiscoビジネススイッチでのSNMPグループの設定

目的

このドキュメントでは、Cisco BusinessスイッチでSNMPグループを作成および設定する方法について説明します。

概要

Simple Network Management Protocol (SNMP ; 簡易ネットワーク管理プロトコル) は、ネットワーク内のデバイスに関する情報の記録、保存、および共有に役立つネットワーク管理プロトコルです。これにより、管理者はネットワークの問題に対処できます。SNMPは、管理情報ベース(MIB)を使用して、利用可能な情報を階層的に保存します。SNMPグループは、アクセス権限に基づいてSNMPユーザを結合し、MIBのさまざまなSNMPビューに対する許可に使用されます。各SNMPグループは、グループ名とセキュリティレベルの組み合わせによって一意に識別されます。SNMPビューがすでにデバイスに設定されていることを前提としています。

SNMPビューの設定の詳細については、次を参照してください。

- [CBS250または350シリーズスイッチでのSNMPビューの設定](#)
- [CBS220のSNMPビューの設定](#)

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS220 ([データシート](#)) | 2.0.1.5 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS250 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

スイッチでのSNMPグループの設定

手順 1

スイッチのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。

UIオプションは、スイッチのモデルによって異なる場合があります。この記事では、CBS350スイッチを使用しています。

手順 2

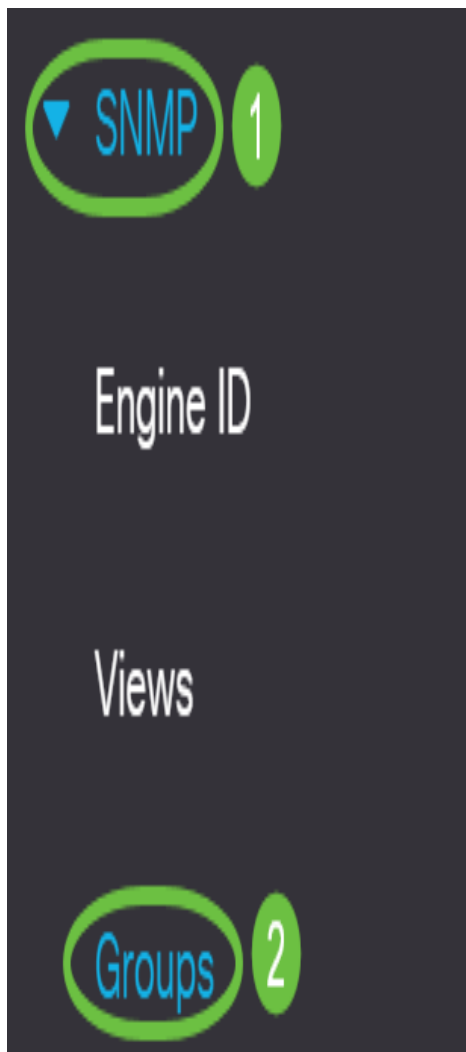
CBS250またはCBS350スイッチを使用している場合は、[表示モード]を[詳細]に変更します。



CBS220スイッチを使用している場合は、この手順を省略して手順3に進みます。

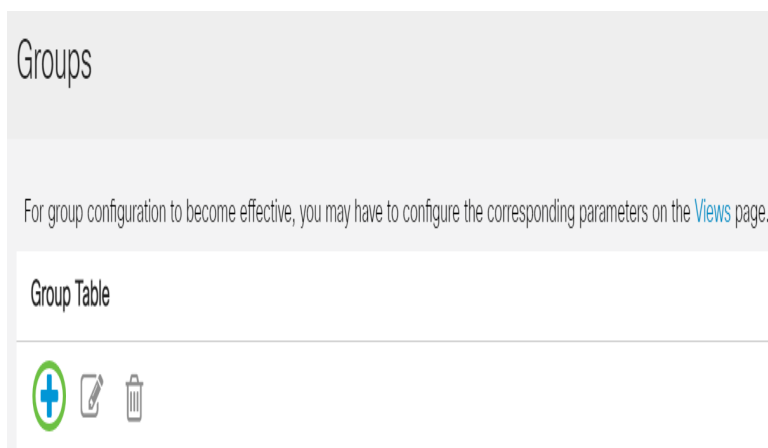
手順 3

SNMP > Groupsの順に選択します。



手順 4

[Add]をクリックし、新しいSNMPグループを作成します。



手順 5

[Group Name]フィールドにSNMPグループの名前を入力します。

Add Group

Group Name: (11/30 characters used)

Security Model: SNMPv1
 SNMPv2
 SNMPv3

この例では、グループ名はSNMP_Group1です。

手順 6

[Security Model]領域で[SNMP Version]のオプションボタンを選択します。次のオプションがあります。

- SNMPv1：このオプションは、認証がなく、プライバシーがないことを意味します。
- SNMPv2：このオプションには、SNMPv1のほとんどの機能が含まれます。また、SNMPメッセージが許可されたエンティティ間で確実に交換されるように認証を提供します。
- SNMPv3：このオプションにはSNMPv2機能が組み込まれ、プライバシーと共に認証を提供して、許可されたエンティティだけがSNMPメッセージを表示できるようにします。

Add Group

Group Name: (11/30 characters used)

Security Model: SNMPv1
 SNMPv2
 SNMPv3

この例では、SNMPv3が選択されています。

ステップ7

新しく作成したSNMPグループに対して必要なセキュリティレベルに対応する[Enable] チェックボックスをオンにします。次のオプションがあります。

- No Authentication and No Privacy：このオプションは、グループに認証とデータ暗号化が割り当てられないことを意味します。
- Authentication and No Privacy：このオプションは、SNMPメッセージを認証し、発信元が認証されることを保証します。
- 認証とプライバシー：このオプションは、SNMPメッセージを認証し、暗号化します。

Group Name: (11/30 characters used)

Security Model: SNMPv1
 SNMPv2
 SNMPv3

Enable	Security Level	View		
<input type="checkbox"/>	No Authentication and No Privacy	<input type="checkbox"/>	Read	Default ▼
<input type="checkbox"/>	Authentication and No Privacy	<input type="checkbox"/>	Read	Default ▼
<input checked="" type="checkbox"/>	Authentication and Privacy	<input type="checkbox"/>	Read	Default ▼

手順 8

SNMPビューは、MIBオブジェクトのサブセットで、MIBオブジェクト情報に対するSNMPユーザの書き込み、読み取り、および通知権限を制御するためにSNMPグループに割り当てることができます。[読み取り(Read)]、[書き込み(Write)]、および[通知(Notify)]チェックボックスをオンにし、新しく作成したSNMPグループのドロップダウンリストから目的のビューを選択します。ドロップダウンリストには、デフォルトビューとユーザ定義ビューの両方が表示されます。

- [読み取り(Read)]：選択したビューの管理アクセスは読み取り専用です。
- 書き込み：選択したビューに対する管理アクセスが書き込まれます。
- 通知：選択したビューでイベントが発生すると、通知メッセージがSNMPユーザに送信されます。これはSNMPv3でのみ使用できます。

Enable	Security Level	View					
<input type="checkbox"/>	No Authentication and No Privacy	<input type="checkbox"/> Read	Default	<input type="checkbox"/> Write	Default	<input type="checkbox"/> Notify	Default
<input type="checkbox"/>	Authentication and No Privacy	<input type="checkbox"/> Read	Default	<input type="checkbox"/> Write	Default	<input type="checkbox"/> Notify	Default
<input checked="" type="checkbox"/>	Authentication and Privacy	<input checked="" type="checkbox"/> Read	Default	<input checked="" type="checkbox"/> Write	Default	<input checked="" type="checkbox"/> Notify	Default

手順 9

[Apply]をクリックして、SNMPグループを実行コンフィギュレーションファイルに保存します。

Add Group

X

Group Name: (11/30 characters used)

Security Model: SNMPv1
 SNMPv2
 SNMPv3

Enable	Security Level	View					
<input type="checkbox"/>	No Authentication and No Privacy	<input type="checkbox"/> Read	Default	<input type="checkbox"/> Write	Default	<input type="checkbox"/> Notify	Default
<input type="checkbox"/>	Authentication and No Privacy	<input type="checkbox"/> Read	Default	<input type="checkbox"/> Write	Default	<input type="checkbox"/> Notify	Default
<input checked="" type="checkbox"/>	Authentication and Privacy	<input checked="" type="checkbox"/> Read	Default	<input checked="" type="checkbox"/> Write	Default	<input checked="" type="checkbox"/> Notify	Default

手順 10

(オプション) 設定したグループのセキュリティモデルまたはセキュリティレベルを変更する必要がある場合は、対応するチェックボックスをオンにし、[Edit]をクリックして変更を実行します。

Group Table

		No Authentication Views			Authentication Views			Privacy Views			
1	Group Name	Security Model	Read	Write	Notify	Read	Write	Notify	Read	Write	Notify
<input checked="" type="checkbox"/>	SNMP_Group1	SNMPv3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Default	Default	Default

手順 11

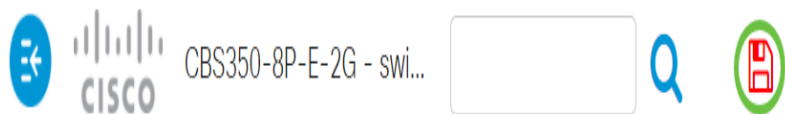
(オプション) グループテーブルからグループを削除するには、対応するチェックボックスをオンにし、[Delete]をクリックします。

Group Table

		No Authentication Views			Authentication Views			Privacy Views			
1	Group Name	Security Model	Read	Write	Notify	Read	Write	Notify	Read	Write	Notify
<input checked="" type="checkbox"/>	SNMP_Group1	SNMPv3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Default	Default	Default

ステップ 12

(オプション) [保存]をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。



これで、スイッチでSNMPグループが正しく設定されました。

詳細については、次のリンクを参照してください。

[SNMPの設定](#) [SNMP ビュー](#) [DHCPイメージのアップグレード](#) [パスワードの強度](#) [TCPとUDPの設定](#) [ポート セキュリティ](#) [時間設定](#) [Upgrade Firmware](#) [Smartportのベストプラクティス](#) [トラブルシューティング no ip address](#) [Smartportsのトラブルシューティング](#) [リンクフラッピングのトラブルシューティング](#) [VLAN の作成](#)